



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 ショクブン

上場取引所 東名

コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 章人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 伊藤 久日

TEL 052-773-1011

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,265	0.6	58	137.9	69	137.1	38	70.2
2020年3月期第2四半期	3,245	5.3	24		29		130	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 34百万円 (71.7%) 2020年3月期第2四半期 122百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	4.06	
2020年3月期第2四半期	13.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,671	532	11.4
2020年3月期	4,865	497	10.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 532百万円 2020年3月期 497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,735	1.2	194	16.1	183	10.0	120	33.0	12.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	11,856,669 株	2020年3月期	11,856,669 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,253,164 株	2020年3月期	2,253,098 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,603,514 株	2020年3月期2Q	9,603,692 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想など将来予測情報に関する説明」及び本日別途開示する「第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想修正のお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞により、企業収益や雇用環境は大幅に悪化し、政府による緊急事態宣言の解除後は、徐々に回復の兆しがみられるものの、感染症の再拡大が懸念される中、厳しい経営環境が続いております。

当社グループが属する食品業界におきましては、コロナ禍における不要不急の外出自粛やテレワークの拡大などによる内食需要・巣ごもり消費の高まりが売上を押し上げる要因となった一方で、個人所得の減少や雇用環境の悪化による消費マインドの低下、節約志向の強まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力のメニュー商品売上高は31億15百万円(前年同四半期比101.2%)、特売商品売上高については、1億50百万円(前年同四半期比90.2%)になりました。

利益面におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛が叫ばれる中、巣ごもり消費により当初の予算よりも売上が上振れいたしました。しかしながら、低温、日照不足による野菜の発育不足や巣ごもり消費による需要が増したことで野菜の仕入価格が高騰し、売上原価率は60.6%と前年同四半期の59.4%に比べ1.2ポイント上昇いたしました。

また、販売費及び一般管理費は営業所の統廃合により、人件費や賃借料が減少し、前年同四半期より66百万円減少し、12億27百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は32億65百万円(前年同四半期比100.6%)、営業利益は58百万円(前年同四半期比237.9%)、経常利益は69百万円(前年同四半期比237.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円(前年同四半期比29.8%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、不動産の売却を行ったことにより、有形固定資産が減少し、前連結会計年度末に比べ1億94百万円減少の46億71百万円になりました。

負債につきましては、短期借入金が増加しましたが、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億29百万円減少の41億38百万円になりました。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ34百万円増加の5億32百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、2020年5月13日に公表しました予想数値を変更しております。詳細は本日付「第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想修正のお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,708	712,025
売掛金	42,499	65,110
原材料及び貯蔵品	95,222	102,292
その他	41,421	41,375
貸倒引当金	△1,007	△1,007
流動資産合計	771,844	919,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	551,933	511,205
土地	2,998,745	2,608,614
その他(純額)	158,624	232,339
有形固定資産合計	3,709,303	3,352,158
無形固定資産		
投資その他の資産	35,383	40,963
投資有価証券	7,504	7,504
退職給付に係る資産	234,841	236,294
その他	106,636	114,416
投資その他の資産合計	348,982	358,215
固定資産合計	4,093,670	3,751,337
資産合計	4,865,515	4,671,135
負債の部		
流動負債		
買掛金	263,364	255,564
短期借入金	2,525,030	2,640,000
1年内返済予定の長期借入金	370,940	245,964
未払法人税等	23,400	31,763
賞与引当金	29,650	33,000
ポイント引当金	10,912	6,256
資産除去債務	2,500	-
その他	356,717	417,407
流動負債合計	3,582,514	3,629,955
固定負債		
長期借入金	538,863	213,295
資産除去債務	20,921	23,556
繰延税金負債	71,735	69,871
その他	153,593	201,850
固定負債合計	785,112	508,572
負債合計	4,367,627	4,138,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,141	1,488,141
利益剰余金	△1,025,259	△986,310
自己株式	△1,111,231	△1,111,256
株主資本合計	499,661	538,584
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△1,773	△5,977
その他の包括利益累計額合計	△1,773	△5,977
純資産合計	497,887	532,606
負債純資産合計	4,865,515	4,671,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,245,145	3,265,461
売上原価	1,926,283	1,979,434
売上総利益	1,318,861	1,286,026
販売費及び一般管理費	1,294,086	1,227,088
営業利益	24,775	58,937
営業外収益		
受取利息	1,334	6
受取配当金	2,308	-
固定資産受贈益	8,451	-
受取手数料	1,841	19,399
その他	6,242	2,181
営業外収益合計	20,179	21,587
営業外費用		
支払利息	13,355	9,293
貸倒引当金繰入額	1,809	-
その他	585	1,997
営業外費用合計	15,750	11,291
経常利益	29,205	69,233
特別利益		
固定資産売却益	125,747	-
特別利益合計	125,747	-
特別損失		
減損損失	39,024	-
固定資産売却損	-	10,663
特別損失合計	39,024	10,663
税金等調整前四半期純利益	115,927	58,570
法人税、住民税及び事業税	21,149	19,631
法人税等調整額	△35,768	△10
法人税等合計	△14,618	19,621
四半期純利益	130,546	38,948
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,546	38,948

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	130,546	38,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,016	-
退職給付に係る調整額	△2,945	△4,203
その他の包括利益合計	△7,961	△4,203
四半期包括利益	122,584	34,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,584	34,744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

2021年3月期 第2四半期決算短信 (発表資料の要約)

当社の2021年3月期 第2四半期決算につきまして、配布の決算短信のとおり発表させていただきます。

1. 業績について

イ 当第2四半期累計期間の業績

	(連結)		(個別)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	32億65百万円	100.6%	32億60百万円	100.6%
営業利益	58百万円	237.9%	51百万円	312.2%
経常利益	69百万円	237.1%	75百万円	112.8%
四半期純利益	38百万円	29.8%	47百万円	26.8%
1株当たり四半期純利益	4円6銭		4円94銭	

(注) 当社の連結対象子会社は、株式会社食文化研究所の1社であります。

(1) 売上高は32億65百万円となり、前期に比べ0.6%増加しました。

(2) 経常利益は69百万円になり、前年同期比137.1%増加しました。

内食需要・巣ごもり消費による売上の上振れいたしました。低温、日照不足による野菜の発育不足や巣ごもり消費による需要が増したことで野菜の仕入価格が高騰し、売上原価率は60.6%と前年同四半期の59.4%に比べ1.2ポイント上昇いたしました。また、販売費及び一般管理費は、前年同四半期より66百万円減少し、12億27百万円になりました。

(3) 親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円、前年同期比29.8%になりました。これは、前期は第2四半期連結累計期間に拠点の統廃合に伴う遊休資産の売却を行ったことで固定資産売却益1億25百万円を計上したことによるものです。

ロ 通期の業績予想

	(連結)		(個別)	
		前期比		前期比
通期売上高	67億35百万円	101.2%	67億24百万円	101.2%
通期営業利益	1億94百万円	116.1%	1億79百万円	118.3%
通期経常利益	1億83百万円	110.0%	1億95百万円	98.8%
当期純利益	1億20百万円	133.0%	1億37百万円	98.2%
1株当たり当期純利益	12円54銭		14円31銭	

2. 株主還元策について

イ 配当金

当中間配当金	中間配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきたいと存じます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。 なお、一日も早く復配できる体制を整え、株主の皆様のご期待に沿うよう努力する所存であります。
当期末配当金予想	無配とさせていただきたいと存じます。

ロ 株主優待策

2021年3月31日現在の当社株式1千株以上所有の株主様に対し、6千円相当の優待品を進呈いたします。

しかしながら、2020年9月末における株主優待につきましては、現状を鑑み誠に遺憾ではありますが、対象外とさせていただくことといたしました。

今後も株主様への利益還元が当社の最優先事項であると認識し、従前の株主優待が実施できるよう業績の回復に努めてまいります。

3. 財政状態について

財政状態は、決算短信2ページ「1. 当四半期決算に関する説明(2) 財政状態に関する説明」に記載のとおりであります。

自己資本比率は、前期末の10.2%から11.4%になりました。この主な理由は、利益剰余金の増加に伴い純資産が34百万円増加したことによるものです。

4. 設備投資について

当第2四半期 累計期間	設備金額	1億38百万円 主なものは リース資産 98百万円 建物 18百万円 その他 22百万円
	減価償却費	47百万円
通期予想	設備金額	当第2四半期分を含め、1億98百万円を予定しております。 リース資産 30百万円 その他 30百万円
	減価償却費	94百万円

5. 今後の見通しについて

通期の業績見通しは、第2四半期連結累計期間業績及び直近の実績に加え、下期におきましては、引き続き内食需要・巣ごもり消費による売上の増加が見込まれます。

結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回り、67億35百万円の売上高、1億94百万円の営業利益、1億83百万円の経常利益、1億20百万円の親会社株主に帰属する当期純利益となる見込みです。

以 上